



アレキサンダー教授が男女共同参画推進室長に就任しました



by RA

神戸大学は、高等教育機関として、男女共同参画社会の形成に寄与することで「人類の福利と平和に貢献」する責任をその男女共同参画推進基本計画にうたっています。私は平和学を専門としており、平和研究、平和教育そして平和活動を行っています。それらの共通のテーマは、「すべての生き物が安全で安心して暮らせる社会づくり」です。すべての人がお互いを尊重しあい、どの人も自らの潜在能力を自由に発揮できる社会に住むことができれば、どんなに素敵でしょう。そのような社会に、ダイバーシティとインクルーシブといったキーワードが極めて重要です。

ダイバーシティを誇りにするインクルーシブな社会はどのようにすればできるでしょうか。大きな柱のひとつは、本当の意味でのジェンダー平等だと思います。その実現には、女性、男性、LGBTQI といったアイデンティティを持つ人々の参画が不可欠です。

神戸大学男女共同推進基本計画に基づく男女共同参画推進室は、様々な取り組みを行っており、職場や研究、教育における参画のみならず、子育て・介護支援やワークライフバランスなど、生活の様々な場面において皆様のお力になろうとしています。また、国際シンポジウムや公開講座などを通じて、コミュニティ連携型活動や国際活動も積極的に行っており、世界に開かれた視野を持って、男女共同参画やジェンダー平等に取り組んでいます。

室長として推進室のスタッフと協働できることに喜びを感じています。不安もありますが、ダイバーシティに輝き、インクルーシブで生活しやすい神戸大学に向けて、皆と一緒に頑張っていきたいと思っています。

男女共同参画推進室・室長
ロニー・アレキサンダー
(国際協力研究科・教授)

兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成に採択されました

男女共同参画推進室は、以下の事業のために公益法人兵庫県婦人会館ユネスコ基金の助成に応募したところ採択の通知をいただきました。

本事業は、神戸大学の学生を対象として、それら学生が東南アジアの災害とそれに対する弱者支援策について学び、理解を深めることを目的としています。東南アジアにおいて災害支援活動を行っている NPO 職員を招聘し、地震・津波等の自然災害発生時の弱者（女性・子ども・老人を含む）支援について実際の活動状況及び現場で生じている問題について話をさせていただきます。

お話の後、グループに分かれてディスカッションなどを行い、災害と弱者からみえてくる社会の問題を考えます。この講演及びグループ討議は、男女共同参画推進室が行っている講義（グローバル共通科目「男女共同参画とジェンダー」）において行う予定です。



男女共同参画推進室（本部、分室）は移転しました



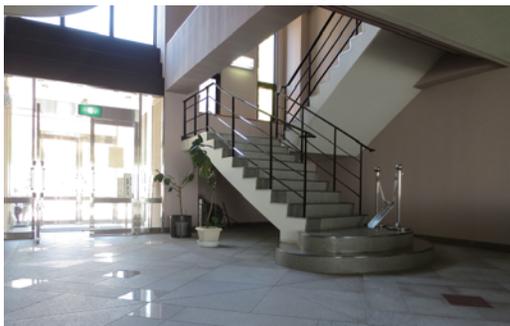
眺望館外観



眺望館外観



眺望館玄関



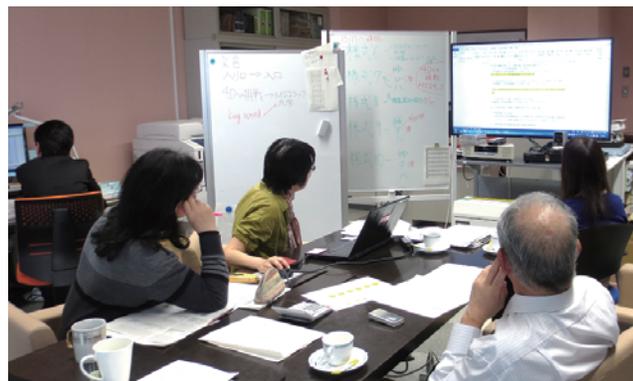
眺望館ホール
階段、こちらから2階へ上がります。



2階ホール
右手奥へ進みます。



突き当たりに男女共同参画
推進室入り口があります。



男女共同参画推進室は本部（本部棟2階）、分室（自然科学研究棟2号館101号室）から眺望館2階へ統合移転しました。

平成29年度男女共同参画推進室協力教員が決定しました

人文学研究科 梶尾文武（准教授）
 国際文化学研究科 長志珠絵（教授）
 人間発達環境学研究科 佐藤春実（准教授）
 法学研究科 櫻庭涼子（教授）
 経済学研究科 西山慎一（教授）
 経営学研究科 庭本佳子（准教授）
 理学研究科 中村昭子（准教授）

医学研究科 錦織千佳子（教授）
 保健学研究科 林敦子（准教授）
 工学研究科 向井敏司（教授）
 システム情報学研究科 上原邦昭（教授）
 農学研究科 黒田慶子（教授）
 海事科学研究科 山地一代（准教授）
 国際協力研究科 西谷真規子（准教授）
 経済経営研究所 松尾美和（准教授）

